文部科学省 令和４年度「地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業」採択

やまぶらリカレント教育

やまがた共創塾
地域産業コア人材育成プログラム

Core Human Resources Development Program for Regional Industry

令和６年度 受講者募集要項

＼ プログラム説明動画はこちら！ ／

地域産業コア人材育成プログラム
概要説明動画（約５分）



山形大学
Yamagata University

地域産業コア人材育成プログラムとは

企業・団体の中核として組織や事業の成長を牽引していくコア人材の育成を後押しします。

高齢化や人口減など様々な地域課題があるなか、山形県にとって継続的な産業人材の育成が喫緊の課題となっています。これらの課題を解決し、地域経済や産業の活力を維持・向上させていくため、各企業・団体の中核として組織や事業の成長を牽引していくコア人材を育成する教育プログラムが必要とされています。

本プログラムは、やまがた社会共創プラットフォームにおけるリカレント教育として山形大学が企画・運営する、産学官連携による人材育成プログラムです。プログラム修了者には、山形大学の『地域産業コア人材育成プログラム修了証』を授与します。

プログラムの特長

1 地域産業のニーズに応えたカスタムメイドプログラム

令和５年度に実施した企業等団体・個人へのアンケート及びヒアリング結果に基づき、そのニーズに応える内容で構成された教育プログラムです。産業界から多数の実務家講師が授業を担当いたします。

2 経営シミュレーションなどに重点を置いた実践的な講義

多くの優良企業の研修にも採用されているシミュレーション教材を使用します。経営視点を持って意思決定する体験を通し、コア人材としての実践力を身につけることができます。

3 5ヶ月・60時間のインターバル型リカレント教育

隔週金曜日（一部土曜日）に開講する５ヶ月・６０時間の教育プログラムです。時間をかけて体系的に学ぶことで、コア人材に必要な力を着実に身につけることができます。

対象者

組織や事業の成長を牽引していくコア人材の育成を希望する企業・団体。
中堅層・プレマネジメント層・管理者層におすすめ。
※業種は問いません。公務員の方の参加も歓迎。

コア人材育成のイメージ



カリキュラム

1 オリエンテーション

本プログラムの流れと期待について説明。また受講者は事前にオンラインでアセスメントを受け、自身の強みを理解しておき、それを自己紹介に使う。

（※受講者の所属企業の経営者または、担当役員も参加）

2 組織経営 リーダーシップ

組織経営のあり方は環境変化と経営戦略に従う。
自分は「なぜ学ぶのか、何をめざし、何を実現したいのか」を人と組織と経営の視点から再検討し、その実現のために自身に必要なリーダーシップを探る。

3 財務

財務三表を理解し、事業活動の「何」が財務に影響するかを学ぶ。また自分の本業での役割が自社の財務でどのように影響するかも理解をする。

4 ヒューマンリソース開発

経営者から新入社員まで、チームの個人に焦点を当てた活性化と成長のポイントをつかむ。
それぞれの個性やもち味を活かす「人と人」「仕事と働き方」の組合せを探り、「やる気、やりがい、感謝」を実感できる個人と職場づくりをめざす。

5 チームビルディング

メンバーが自発的に能力を発揮し周囲に貢献し、チーム全体の成果に結びつけるための「つながり」を再構築する。安心で生産性の高いチームをつくるために、特に対人感受性と日常の言語・非言語コミュニケーションの必要性とスキルを実習により習得する。

6-7 経営シミュレーション①

事業戦略構築、事業計画、意思決定
資金調達

製造業（自動車）の経営をチーム対抗で行う。経験や知識をフル活用して、シミュレーション上の会社経営を行う。またこの体験からの学びをどのように本業での役割につなげることができるかも振り返る。

8-9 経営シミュレーション②

顧客獲得戦略、人的リソース最適化
プロジェクト管理、事業効率（財務観点）

架空の会社を経営してみる。戦略を策定し、戦略に合致する顧客獲得を行い、且つ顧客にフィットする人材の採用と業務指示を行う。顧客と人材は他社から狙われることもあり、攻めの経営だけでなく守りについても考えることが必要。またこの体験からの学びをどのように本業での役割につなげることができるかも振り返る。

10 経営の実例に学ぶ

中小企業庁委託事業 山形県よろず支援拠点で関わった県内のビジネス成功事例について、その経営者とコーディネーターでトークセッションを行う。また、現在ビジネスの第一線でも活躍しているコーディネーターによる、経営者の視点での講演および経営のシミュレーションを通じて経営ノウハウを学ぶ。

11 DX とデジタル化の違い

デジタルは DX を成功に導く道具であること、DX は資産・人材・アイデア・技術をデジタルで繋ぎ、ビジネス目標を達成するための手段であることを理解し、また社内へ浸透させるためにはチェンジマネジメントのアプローチが必要になることを学ぶ。

12 イノベーションを起こすマインドセット

イノベーションを生み出すためには、当然行動が必要。その行動は勇気を伴うこともある。社内でイノベーションを起こすための行動について講師自身の経験を交えて学ぶ。

※山形大学アントレプレナーシップ教育研究センターが実施する『新事業創出イノベーションプログラム』の講義を、同プログラム受講生とともに受講いたします。（ZOOM 受講）

13 実践的知的財産活用術

社内に存在する知的財産の価値に気付き、それが新たな財務的価値を生み出す可能性について学ぶ。

※山形大学アントレプレナーシップ教育研究センターが実施する『新事業創出イノベーションプログラム』の講義を、同プログラム受講生とともに受講いたします。（ZOOM 受講）

14 学びの総括・クロージング 修了式・懇親会

学びのポイントの振り返り。「学んだこと」と「学びを明日からどのように活かすか」について各自事前に動画（３分以内）を作成しそれを視聴する。また動画による発表内容について質疑応答を経ることにより、学びをできるだけ記憶に残せるようにする。

（※受講者の所属企業の経営者または、担当役員も参加）

プログラム概要

履修期間
5ヶ月間
令和6年　5月24日（金）開講
令和6年10月25日（金）修了 予定

受講料
20万円
※納付いただいた受講料は返付できません。

開講場所
山形大学 小白川キャンパス

受講形式
原則 対面形式（実践重視の教育のため）
※一部、ZOOM 受講回があります。
※出席できない場合、リアルタイムでの ZOOM 参加が可能な回もあります。

講義時間
計 60 時間
原則①〜③の時間帯で開講
①金曜日 16:00-19:00　②金曜日 9:00-17:00
③土曜日　9:00-17:00
※隔週金曜日 10 回、土曜日 4 回の全 14 回

修了要件
以下の要件を満たすこと
（1）全時間数のうち 8 割の出席
（2）各講義ごとに提出する課題の点数が合格ラインであること

応募資格
高等学校卒業者等の大学入学資格を有している方

募集定員
30名（一企業・団体から複数名の受講可能）
※最低開講人数は 10 名です。申込者多数の場合は選考を行うことがあります。また、人数に達しない場合は実施できない可能性があります。

応募方法
（1）受講申込書（所定用紙）を郵送・持参
又は、WEB 応募フォームからお申し込みください。
（2）受講料の納付については別途ご案内いたします。

応募締切
令和6年 4月30日（火）

WEB 申込は
こちらから
https://x.gd/202405241025

講師陣



山形大学 教授
アントレプレナーシップ教育研究センター センター長
ONODERA Tadashi
小野寺　忠司
1 オリエンテーション



山形大学 准教授
アントレプレナーシップ教育研究センター 副センター長
SUGAOI Tatsuhito
菅生　達仁
3 財務　6・7 経営シミュレーション①
8・9 経営シミュレーション②　14 学びの総括



ライフマナーサポート 代表
KANAZAWA Nobuo
金沢　信雄 氏
2 組織経営 リーダーシップ　4 ヒューマンリソース開発
5 チームビルディング



中小企業・小規模事業者・創業希望者等のためのワンストップ経営相談窓口
山形県よろず支援拠点
チーフコーディネーター
katsuki Shinya
勝木 伸哉 氏
10 経営の実例に学ぶ



一般社団法人オフショア開発機構　理事
経済産業省 DX 認定個人事業者 (DX-2021-08-0020-01)
KOJIMA Hideharu
小嶋　秀治 氏
11 DX とデジタル化の違い



中小企業・小規模事業者・創業希望者等のためのワンストップ経営相談窓口
山形県よろず支援拠点
コーディネーター
Kobayashi Kazumi
小林 一三 氏
10 経営の実例に学ぶ



SCSK（株） 参与
KOMIYA Hiroyuki
古宮 浩行 氏
12 イノベーションを起こすマインドセット



明倫国際法律事務所
弁護士・弁理士
TANAKA Masatoshi
田中 雅敏 氏
13 実践的知的財産活用術

※プログラム内容は現在検討中であり、変更になる可能性があります。

開講スケジュール

回	授業日	受講形式	開始	終了	時数（h）	テーマ	講師
1	5月24日（金）	対面	16:00	19:00	3	オリエンテーション	山形大学 教授 小野寺 忠司
2	6月 7日（金）	対面	16:00	19:00	3	組織経営 リーダーシップ	ライフマナーサポート 代表 金沢 信雄 氏
3	6月21日（金）	対面	16:00	19:00	3	財務	山形大学 准教授 菅生 達仁
4	7月 5日（金）	対面	16:00	19:00	3	ヒューマンリソース開発	ライフマナーサポート 代表 金沢 信雄 氏
5	7月19日（金）	対面	16:00	19:00	3	チームビルディング	ライフマナーサポート 代表 金沢 信雄 氏
6	8月 2日（金）	対面	9:00	17:00	7	経営シミュレーション① 事業戦略構築、事業計画、意思決定、資金調達	山形大学 准教授 菅生 達仁
7	8月 3日（土）	対面	9:00	17:00	7	経営シミュレーション① 事業戦略構築、事業計画、意思決定、資金調達	山形大学 准教授 菅生 達仁
8	8月30日（金）	対面	9:00	17:00	7	経営シミュレーション② 顧客獲得戦略、人的リソース最適化、プロジェクト管理、事業効率（財務観点）	山形大学 准教授 菅生 達仁
9	8月31日（土）	対面	9:00	17:00	7	経営シミュレーション② 顧客獲得戦略、人的リソース最適化、プロジェクト管理、事業効率（財務観点）	山形大学 准教授 菅生 達仁
10	9月13日（金）	対面	9:00	17:00	7	経営の実例に学ぶ	山形県よろず支援拠点 勝木伸哉、小林一三 他
11	9月27日（金）	オンライン	16:00	19:00	3	DXとデジタル化の違い	一般社団法人オフショア開発機構　理事 小嶋 秀治 氏
12	10月 5日（土）	オンライン	11:15	12:45	1.5	イノベーションを起こすマインドセット	SCSK株式会社 参与 古宮 浩行 氏
13	10月19日（土）	オンライン	13:15	14:45	1.5	実践的知的財産活用術	明倫国際法律事務所 弁護士・弁理士 田中 雅敏 氏
14	10月25日（金）	対面	14:00	18:00	4	学びの総括、クロージング	山形大学 准教授 菅生 達仁
						修了式、懇親会	

人材開発支援助成金のご案内

企業が従業員に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練等を計画に沿って受講させた場合、厚生労働省より**「人材開発支援助成金」**の支援が受けられます。

【助成内容】

- **人材育成訓練受講経費の助成**　45%（中小企業の場合）
- **人材育成訓練受講期間中の賃金の助成**　1時間760円（中小企業の場合）

※助成額は事業規模等によって企業ごとに異なります。

【支給条件】

・従業員に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練等を計画に沿って実施する企業

- **時間数のうち８割以上の出席**

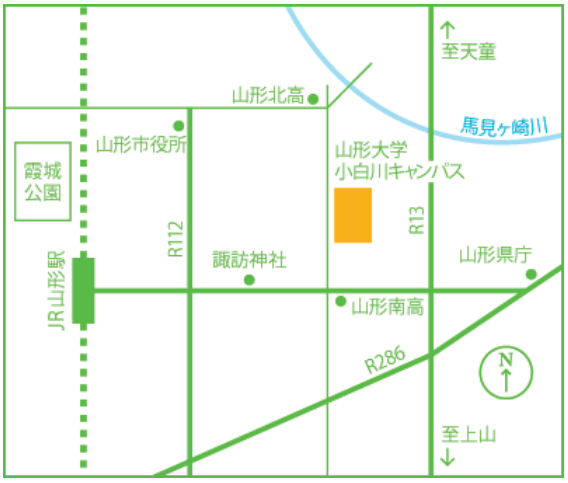
【受講前手続き】

開講日の１ヶ月前までに『職業訓練実施計画届』、その他必要な書類を**労働局**へ提出

申込期日：令和６年４月24日（水）

詳細は労働局までお問い合わせください

アクセスマップ





小白川キャンパス

地域産業コア人材育成プログラムは、山形大学小白川キャンパス内での開講を予定しております。

JR 山形駅から

●東方へ約 2.5km（徒歩約 30 分）

●ベニちゃんバス「東くるりん　東原町先回りコース」で「山大前」下車（所要時間約９分）

●市内路線バス「県庁前・県庁北口」行きで「南高前・山大入口」下車（所要時間約６分）、そこから徒歩約７分

お問い合わせ

山形大学 総務部総務課 社会共創推進事務室

（やまがた共創塾 地域産業コア人材育成プログラム 事務局）

担当：樋口、長沼、岡崎

MAIL：yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

TEL：023-628-4615　　FAX：023-628-4185

〒990-8560　山形県山形市小白川町一丁目４-12（法人本部棟）

やまがた社会共創プラットフォーム

やまがた リカレント教育アカデミー Yamagata Recurrent Education Academy